

## うさリンピックの始まり

スイカ保育（夏季保育）でどんな遊びをしたいか話し合いをすると「バレーボール」「野球」など様々な意見が出て、みんなでバレーボールをすることになりました。早速ボールを作ろうと新聞紙を丸めようとしたところ、たまたま新聞記事にオリンピックの内容が載っていて「あっ、これオリンピックだ」と興味を示しました。

そこからオリンピックに関する新聞記事の切り貼りが始まり「これ柔道だ」「金メダル持ってるよ」など様々な会話と共にオリンピックの内容を集めた掲示物が出来上がりました。

新聞紙作りと同時にバレー遊びも広がり、ネットをどのように作ろうかみんなで考えた結果、2つの棒に網をくくりつけて誰かが支えておくというスタイルでバレーボールをやってみることに。いざ、実際にバレーをやってみると「ネットを持っているだけは楽しくない」「バレー難しい」と様々な意見が出たため、もっと楽しくバレーをするにはどうしたらいいか再度うさぎ会議（話し合い）をしました。



## 対話をする・問題を解決する力

オリンピックの影響もあり、バレーの他にも「サッカー」「陸上（リレー）」など様々な協議に取り組んでいたうさぎ組。うさぎ組のオリンピックなので「うさリンピック」と名付けて子どもたちと楽しむことができました。うさリンピックをする上では「みんなが楽しめるスポーツにする!」という事をみんなの約束事として掲げ、話し合いをしながら進めてきました。

いざやってみると難しいと気づいたバレーボール後のうさぎ会議では、以下のような意見が出ました。

- 「練習すれば楽しくできるよ」 → 「でも、ボールがないから練習できない」
- 「ボールを作ってあげるよ」 → 「どうやって練習すればいいのかわからない」
- 「……………」 → 「ならルールを変えよう」
- 「ボールを手でキャッチするのはどう?」
- 「いいね。キャッチして投げて、捕れなかったら相手に1点」

うさぎ会議の内容を踏まえて、キャッチバレーと名称を変えて新たな競技が始まりました。ルールの変更もあって、子どもたちにとってちょうどいい難易度で、笑顔で楽しむ姿が見られました。

また、初めてサッカーをした時は「ボールに触れない」「難しく楽しくない」との声が挙がったため、試合を止めてみんなでうさぎ会議をしたところ、「どうして楽しくないの?」 → 「だって難しい」 → 「じゃあ練習しよう」 → 「どうやって練習するの?」 → 「(サッカーを習っている子が説明)」 → 「わかんない」 → 「じゃあPKはどう?」

サッカー経験者を中心にPKの説明をしてもらいながら、実際にやってみるとみんながボールに触れることができ、楽しくサッカーをすることができたようです。



新たな競技に挑戦すると毎回というほど「楽しくない」という意見が挙がり、都度「うさぎ会議」をしてきました。

対話を繰り返すことで、自分の思いだけでなく、友達の考えや思いを自分事として受け止めたり、自分なりに考えて意見を言ったり。また、わからないことや難しいことは先生や友達に聞きながら粘り強く取り組んだりする姿が見られるようになってきました。

そして、「楽しくないからやらない」だけではなく、自分たちで意見を出し合ってルールを変えることで楽しいものにできたという経験を重ねられたことが、子どもたちにとって意味のあるものだったと感じています。

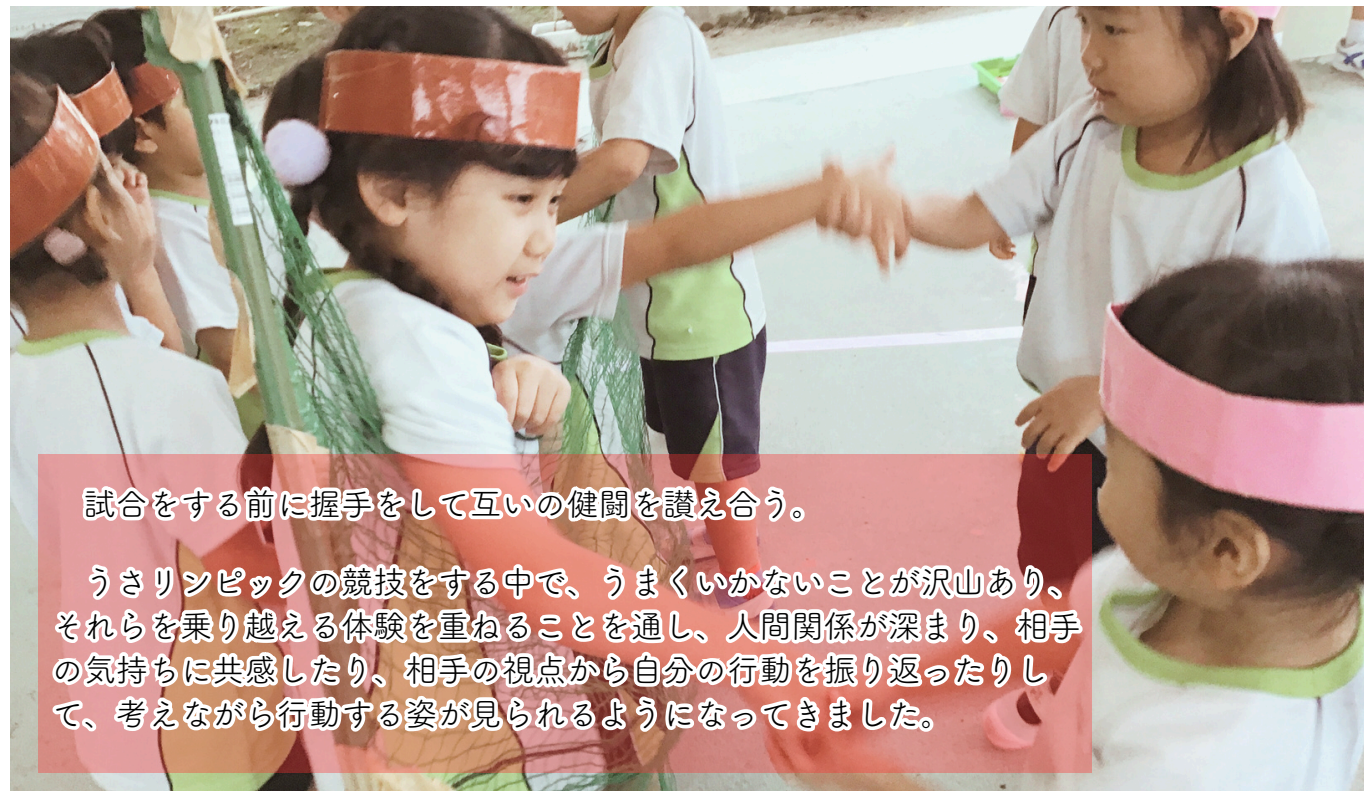


## 相手の立場に立って行動するようになる



うさリンピックをする中で、友達との絆が深まり、試合が始まる前には自分達で円陣を組み「絶対勝つぞー」と意気込んでいました。

陸上のリレーをした時「(リレーを)見てたい」と言って自分は参加せずに1回戦のリレーを見て応援している子がいました。それを見ていた同じチームの友達が「一緒にやろうよ」「何番で走りたい？」と声をかけてくれ、その言葉が背中を押してくれたのか、2回戦にはみんなと一緒に取り組んでいました。



試合をする前に握手をして互いの健闘を讃え合う。

うさリンピックの競技をする中で、うまくいかないことが沢山あり、それらを乗り越える体験を重ねることを通し、人間関係が深まり、相手の気持ちに共感したり、相手の視点から自分の行動を振り返ったりして、考えながら行動する姿が見られるようになってきました。

## 同じ目的の実現に向けて協同する

うさリンピックは1人ではできない競技が多く、必然的に友達と協同する姿が様々な場面で見られました。

キャッチバレーをする際のライン(テープ)貼りでは、テープを押さえておく、テープを貼る等、指示されるでもなく自分達で役割を見つけ、そして分担をしていました。また競技をするだけでなく、友達を応援する事も楽しんでいた子どもたちは、オリジナルの応援グッズを作り、精一杯の声援と共に競技に取り組んでいました。

「みんなが楽しめるスポーツにする!」というクラスみんなの約束を守りながら競技に取り組む中で、どうしたら楽しめるのかをみんなで考え、同じ目的の実現に向けて試行錯誤する姿が見られました。共通の目的の実現のために、考えたり、工夫したり、協力したりし、互いを認め合いながら充実感を持ってやり遂げる姿が見られています。

